



平成 27 年 11 月 19 日
海 上 保 安 庁

第 2 回 VTS^{*1} 管制官の人材育成にかかる日 ASEAN 地域会合 の開催について

海上保安庁は、11 月 24 日から 27 日までの間、ASEAN 諸国において船舶の航行安全対策を所管する関係当局職員を日本に招き、VTS 管制官の人材育成に関する地域会合を開催します。

1. 開催目的

海上保安庁は、今後更なる航行船舶の増大が見込まれる ASEAN 諸国における効果的な航行安全対策の導入を推進すべく、平成 26 年 10 月、ASEAN 諸国関係当局職員及び国際航路標識協会 (IALA) ^{*2} 専門家を日本に招聘して第 1 回地域会合を開催し、ASEAN 諸国の VTS 管制官のための地域訓練センター設立の必要性を示した「戦略計画案」を作成しました。

当該「戦略計画案」をもとに、平成 27 年 11 月、「日 ASEAN 交通連携^{*3}」の枠組みにおいて「海の安全についての協力 (VTS 人材育成協力プロジェクト)」を立ち上げ、現在、マレーシアに ASEAN 諸国の VTS 管制官育成のための地域訓練センターを設立する計画を進めています。

本会合は、上記プロジェクトの一環として、昨年度に引き続き開催するものであり、ASEAN 諸国における国際基準に沿った VTS 管制官育成のための地域訓練センター設立に向けた検討を行うとともに、同諸国との当該分野における今後の我が国の国際協力にかかる可能性を高めていくことを目的として開催するものです。

2. 日程及び場所

月日	内容	場所
11 月 24 日 (火)	スタディツアー	海上保安学校門司分校 関門海峡海上交通センター
11 月 25 日 (水)	移動	
11 月 26 日 (木)	ワークショップ	本庁 (中央合同庁舎 2 号館 16 階 国際会議室)
11 月 27 日 (金)	ワークショップ	本庁 (中央合同庁舎 2 号館 16 階 国際会議室)

3. 参加国、参加機関

ASEAN 諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）及び IALA

4. 会合の内容

海上保安学校門司分校、関門海峡海上交通センターのスタディツアーを経て、ASEAN 全体の VTS 管制官を対象とした地域訓練センター設立、研修体制構築に向けた検討を行い、地域訓練センターにおける運営体制、訓練内容及び当該センターを国際基準に準拠した訓練機関として認定するための方法を示した「実施計画案」を作成します。

5. 取材申し込み

11月26日及び11月27日のワークショップにおいて取材が可能ですので、取材を希望される方は、予め上記問合せ先までご連絡ください。

- ※1 VTS (Vessel Traffic Services : 船舶通航サービス) は、航行船舶の安全性と効率性の向上等を目的に、レーダー、AIS (船舶の識別符号、種類、位置、針路、速度、航行状態及びその他の安全に関する情報を自動的に VHF 帯電波で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステム)、VHF 無線電話などを活用し様々な情報を収集したうえで、航行船舶に対し必要な情報を提供するとともに、航行管制を実施する業務です。
- ※2 国際航路標識協会 (IALA: International Association of Marine Aids to Navigation and Lighthouses Authorities) は、国際海事機関 (IMO)、国際電気通信連合 (ITU) 及び国際水路機関 (IHO) 等と密接な関係を保ちつつ、航行援助事業にかかる諸問題の検討、航行援助事業の標準化のための勧告・ガイドライン等の制定及び各国・地域の航行援助事業の発展等に努めている非政府間機関です。
- ※3 日 ASEAN 交通連携は、我が国と ASEAN 各国との交通分野における協力連携のことです。